

【政治】

4 日：大連市党建設研究会顧問座談会開催

4 日、大連市党建設研究会顧問座談会が開催され、規律に則った党組織の管理、党基層組織の建設、反腐敗等の議題について意見交換が行われた。唐軍大連市党委書記ら市党委幹部が会議に出席した。（5 日付半島晨报 A08 面）

4 日：「大連市雷峰ボランティア工作座談会」開催

4 日、「大連市雷峰ボランティア工作座談会」が開催され、全国最優秀サービスコミュニティに選ばれた中山区興和社区の代表らによる発言が行われた。唐軍大連市党委書記ら市幹部が座談会に出席した。（5 日付大連日報 1 面）

4 日：大連市党委常務委員会議開催

4 日、唐軍大連市党委書記の主宰により市党委常務委員会議が開催され、習近平総書記が中国共産党新聞世論工作座談会上で行った重要講話の精神を学習した。（7 日付半島晨报 A08 面）

4、5 日：大連市党委常務委員などが会議を開催、王珉・元遼寧省党委書記に関する中央の決定に対する支持を表明

4 日及び 5 日、市党委常務委員会、市人代、市政府、市政協党組がそれぞれ会議を開催し、中央政府による王珉・元遼寧省党委書記が重大な規律違反の疑いで当局の調査を受けていることに関する決定を徹底して支持していくことを確認した。（6 日付大連日報 1 面）

5 日：肖盛峰市長ら 9 名の全人代代表、北京にて第 12 期全人代第 4 回会議に出席

5 日、肖盛峰大連市長ら 9 名の大連市全人代代表は北京に到着し、第 12 期全国人民代表大会第 4 回会議に出席する。（5 日付大連日報 1 面）

肖盛峰市長、全人代遼寧代表団全体会議に出席

第 12 期全国人民代表大会第 4 回会議開催期間中、肖盛峰大連市長は遼寧代表団全体会議に出席し、「大連を東北アジア地域に向けた開放・協力の戦略的拠点としなければならない」、「サプライサイド構造改革の推進を加速させていかなければならない」旨発言を行った。（6 日付半島晨报 A05 面）（11 日付半島晨报 A02 面）

6 日：唐軍書記、普蘭店区を視察

6 日、唐軍大連市党委書記は普蘭店区を視察し、春の農耕作及び各町村「両委」（党員支部委員会と村民自治員会）の改選作業に関する調査・研究を行った。（7 日付半島晨报 A08 面）

8 日：唐軍書記、国際女性デーに際し市内各地の婦人連合会の活動状況を視察

8 日、唐軍大連市党委書記は「国際女性デー」に際し西崗区、旅順口区を訪れ、各地の婦人連合会の活動状況を視察し、祭日の祝賀の意を表した。（9 日付大連日報 1 面）

10日：大連市対台湾工作会議開催

10日、大連市対台湾工作会議が開催された。会議は中央対台湾工作会議の精神を学習し、大連市の対台湾政策に関する指示を行った。市党委の宗善雲副書記等が出席、市政府の盧林副市長が会議を主宰した。(11日付大連日報6面)

【経済】

大連市、4月1日より国5標準に満たない車両へのナンバープレート交付を停止

市環境保護局が7日に行った発表によれば、大連市は4月1日より、新たに購入された一般のガソリン車・ディーゼル車及び公的な目的で使用される大型ディーゼル車が「国5標準(国家第5段階自動車用燃料排出標準)」に達していない場合、ナンバープレートの交付を行わない新措置を実施していく。(8日付大連日報A1面)

肖盛峰市長、ジブチ共和国の港湾・自由貿易区管理委員会代表と会見

全人代出席のため北京を訪れている肖盛峰大連市長は、休息時間を利用してジブチ共和国の港湾・自由貿易区管理委員会代表一行と会見を行った。大連港集団と招商局集団は2015年にジブチ港開発プロジェクトを内容とする戦略協力枠組み取決めを締結しており、今後ジブチ港及び自由貿易区の開発に参加していく予定で、会見には両集団関係者も同席した。(11日付半島晨报A02面)

ハイテクパークの大連企業、「国家級工業デザインセンター」に認定

1月、国家工業・情報化部の発表した通告により、ハイテクパークにある大連四達高技術発展有限公司が、大連市で初となる国家級工業デザインセンターに認定された。(11日付半島晨报A17面)

【社会・文化】

4日：大連市全域で濃霧が発生

3日未明から発生した濃霧の影響を受け、大連市气象台は4日朝にオレンジレベルの濃霧警報を発表した。市气象台の発表によれば、最も霧が濃い時間帯における一部観測点の可視度は200メートル以下であった。(5日付半島晨报A05面)

【日本関連報道】

大連市民の日本旅行のトレンド、「爆買い」型から「ゆったり観光」型へシフト

昨今の円高の影響を受け、訪日中国人観光客の消費額にも一定の影響が現れている。大連市民の日本旅行のトレンドも、以前の「爆買い」型から「ゆったり観光」型へ徐々にシフトしてし始めている。旅行業界関係者によれば、査証発給要件緩和等の影響を受け、より多くの人々が個人旅行を選択し始め、日本の田舎を訪れたり、内風呂の付いた温泉旅館でゆっくり過ごしたり、花見を楽しんだりする観光商品が人気を集めているという。(10日付新商報A06面)

(注) 3月5日～3月11日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。